

平成29年度第1回北九州市子ども・子育て会議【会議要旨】

1 開催日時

平成29年7月27日（木） 13:30～14:30

2 開催場所

AIMビル 3階 314会議室

3 出席委員数 ※委員定数：15名

14名（田中（梨）委員欠席）

4 議題

(1) 「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」の実施状況について（資料2）

・「北九州市次世代育成行動計画」の点検・評価について（資料3、4）

・「北九州市子ども・子育て支援事業計画」の実施状況及び中間見直しについて
（資料5、6）

(2) 認定こども園・確認部会委員の改選について（資料7）

5 会議経過

(1)-1 「北九州市次世代育成行動計画」の点検・評価について

【主な意見等】

- ・放課後児童クラブの待機児童数が0人を維持していることは評価すべきことだが、定員を超えて受け入れており、施設整備が追いついていない施設もある。施設整備や利用内容の充実にあたっては、現場の意見を聞きながら進めてほしい。
⇒（事務局）施設整備については、計画的な実施に加え、急な増員等についても個別に対応しているところである。また、各クラブからのご意見も随時伺いしているところである。引き続き施設整備、予算の確保に努めたい。
- ・放課後児童クラブの取組を評価するにあたっては、待機児童数と満足度に加えて、例えば、一人あたりのクラブの面積など、子どもがクラブで過ごす環境面を評価できる指標があったほうがよいのではないかと。子どもが快適に過ごしているかどうかという視点も大切と思う。
- ・指標に関しては、子ども・子育て会議で議論したうえで設定したもので、計画期間中に変更することは難しいと思うが、補足的な指標としては重要なデータなので、何らかの形で表記してもらいたい。
- ・現在、順調に進捗している事業でも、今後、担い手不足により事業の進捗が滞る可能性もある。子どもに関わる活動は、将来、社会を背負って立つ人材を育む活動でもある。そういった活動を支えている担い手の育成にも焦点を当てて事業に取り組んでいただきたい。
- ・「地域」というのは、地域コミュニティに限らず、保護者同士のコミュニティな

ども含まれるのではないかという議論もあったが、地域の人材を育成するという取り組み自体の重要性は変わらない。この会議で議論した内容については、所管局に伝えて欲しい。

(1)-2「北九州市子ども・子育て支援事業計画」の実施状況及び中間見直しについて

【主な意見等】

- ・ 0歳児保育については、新制度実施に伴い、これまで一時保育該当だった子が、保育園に入園できるようになったことなど、保育の需要の掘り起こしが発生しており、しばらくは需要と供給の差はゼロにならない。子どもたちにとって、静かな環境、あるいは信頼できる大人が周りにどれくらいいるかという環境が大事であり、あまり無防備に定員を増やすこともできない。保育士の確保、人材の育成が大きな課題。
- ・ 中間見直しについて、来年度以降の推移・国の動向等を踏まえて、今後適切に対応していくことです承。

(2) 認定こども園・確認部会委員の改選について

- ・ 原案どおり了承。